

令和4年度 研修講座ライブラリー

長野県生涯学習推進センター



YouTubeでの視聴が可能です。※要申込
DVDでの受講をご希望の方はご相談ください。
※DVD貸出は無料ですが、返却時の送料のみご負担ください。

ホームページ
「研修講座貸出しページ」はこちら→



貸出 番号	講座名	おすすめのポイント
R4-1	(地域の教育力向上研修) 子どもが見るネット端末の世界 静岡大学教育学部 准教授 塩田 真吾	GIGAスクール構想による1人1台端末環境となり、子どもとネットは切っても切れない関係となっています。便利なツールである一方、依存症などの健康被害やネットトラブルといった問題が懸念されています。子どものネット端末の安心・安全な活用を支援するために、私たち大人ができることを学びます。
R4-2	(地域づくり推進研修) 防災！一瞬の判断と備え ～あなたは突発的な自然災害に対処できますか～ 兵庫県広域防災センター 主任 防災教育専門員 田中 健一	近年、経験したことのない自然災害が全国各地で発生しています。阪神・淡路大震災の体験をもとに、東京大学と連携し最前線の防災研究をされている講師をお招きし、日頃から備えておくべきことや、地域での人と人との繋がりの大切さを考えるとともに、演習を通じて学校を避難所に想定した災害時の対応について学びます。
R4-3	(地域と学校の連携推進研修) 地域と学校で取り組むSDGs 講演「地球の未来を支えるESD/SDGs」 信州大学学術研究院教育学系 准教授 安達 仁美 事例発表Ⅰ「富士見ミツバタウン計画Part13」長野県富士見高等学校養蜂部 事例発表Ⅱ「寿小学校5年生里山体験学習」松本市寿公民館 ワークショップ「2030年に向けて私たち何ができるのか」	地球的規模の環境問題など世界が直面する課題解決のためには、私たちひとりひとりの理解と身近なところからの行動が必要です。ESD(持続可能な開発のための教育)やSDGs(持続可能な開発目標)の理念や内容を学び、これからの学校教育や社会教育の場面で、私たちが「持続可能な社会」実現のためにできることを考えます。
R4-4	(地域づくり推進研修) 支援を必要とする子どもたちへの対応 ～「みんな違ってみんないい」という社会は実現できるのか?～ 児童精神科医、医学博士 夏苺 郁子	精神疾患の親を持つ子どもの立場であり、自身も精神科に通院した当事者・現在は児童精神科医をしている講師の体験から、支援を必要とする子どもたちへ私たちができることは何かを皆で考えます。
R4-5	(地域づくり推進研修) 公民館・社会教育・生涯学習入門 松本大学 総合経営学部 教授 松田 武雄 講義 社会教育・生涯学習の基礎 対談 社会教育の役割と魅力を語る 松本大学 教授 松田 武雄/長野県社会教育委員連絡協議会会長 小池 玲子	新型コロナの感染拡大は社会的孤立や格差の拡大など社会的な課題が顕在化しており、現代は、仲間とともに学び課題解決の取組につなげる社会教育活動や、社会教育活動の拠点としての公民館の役割が試されている時代です。社会教育・生涯学習・公民館の歴史や活動、役割についての基本的な事柄を学ぶことをねらいとします。
R4-6	(地域づくり推進研修) Withコロナ時代の公民館の在り方を考える 日本社会教育学会 会長 上野 景三 事例発表Ⅰ「合言葉は“あんじゃねえ” 子どもと創る持続可能な地域づくりの取組」 和田宿にぎやかし隊・飯田市南信濃公民館 事例発表Ⅱ「コロナ禍の『今』だからこそできる公民館活動」 塩尻市広丘公民館 原新田分館 座談会 「私にとっての公民館、地域にとっての公民館」	長野県民にとって公民館は、集い、学び、つながる、地域に身近なよりどころとして、災厄下での助け合いの基盤の役割を果たしてきました。しかし2020年から広がりを見せているコロナ禍の中で、多くの公民館で事業の中止や見直しが行われています。そこでWithコロナ時代の公民館の在り方を改めて考える機会として開催します。

☆視聴は無料です。(DVDの場合返却時の送料のみ、利用者負担です)